

入善民報

発行 日本共産党入善町委員会
2013年 7月25日 入善町舟見1415
電話・FAX 78-1606

6月議会報告



九里いく子議員

さわぎ 安倍首相は、将来憲法が外国で戦争できる国にすべきだと述べてきた。また、憲法第96条を改正し、国会議員の憲法改正の発議要件を緩和するとも言っている。96条改正の狙いは、9条の改正をにらんでいることは明らかだ▼日本国憲法は「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し」制定された▼憲法は、時の政権が勝手なことをしないよう、国民がその権力を縛るもので、国が国民を縛るものであつてはならない▼だから、世界の先進国では、安易に憲法を変えることができないよう、厳しい制約が設けられているのである▼96条を改正し、国議員の発議要件を緩和するなどは、あまりにも姑息な手段であり、絶対にやつてはならないことである。

下水道の財源不足

副町長 使用料の見直しも検討 安易に町民の負担を増やしてはならない

国交省は相当の取水量削減の方向か 農業用水の水を削って何に使う



松田俊弘議員

黒部川の水の許可水利権の主なものは、発電用水と農業用水です。来年度は、10年に一度の黒部川合口用水の水利権見直しの年です。一般質問で日本共産党の松田俊弘議員は、「国土交通省は、県に対し農業用水の相当量の減水を示唆している」と聞く。主な理由は、転作の拡大で水田面積が減つているからだという。町内一部の地域では、用水の水量が不足し水田に十分に水

を引き込めない所がある。また、水田の水は、地下水涵養に重要であり、用排水の水は、防火水利として欠かすことできない役割を持つている。こうした点からも、水の水利権の水を増やすことがあつても、減らすことなどあつてはならないと思うがどうか」と質しました。



黒東合口用水

認知症の早期発見の研究を 高齢者を狙う詐欺

郵便会社に対策を

米澤町長は「水利権の水量は、農業や生活のスタイルが大きく変わる中で、変化はない」という保証はない。

町長 県・隣接市町・土地改良区と連携し慎重に対応していく

町としては、灌漑用をはじめ、町民が安心して暮らしていくために必要な水量の確保に向け、県や隣接する市町及び土地改良区などと連携を密にし、慎重に対応していく」と答えました。

松田議員は「高齢者の1割が認知症になり、その半数がアルツハイマー型といわれている。その早期発見と対策が、病状の進行を遅らせるのに効果があるとされており、町としても研究してはどうか」と質しました。

小堀健康福祉課長は「認知症の初期症状がみられる段階の高齢者を早期に把握する方法について、先進地や国のモデル事業等も参考としながら、対策の強化に努めていく」と答弁しました。

日本共産党が町議選に 井田義孝氏の擁立を決定

日本共産党が町議選に 井田義孝氏の擁立を決定

また松田議員は「郵便会社の代金引替え制度を悪用した送りつけ詐欺商法で、お年寄りが被害を受ける例が発生している。郵便会社

が積極的に被害防止に当たるよう求めよ」と質しました。



タッチパネルで認知症テスト

町当局は、下水道特別会計が平成28年度以降、年間2～3億円財源不足になるとしています。

一般質問で日本共産党の九里いく子議員は「使用料の引き上げで安易に町民に

負担を転嫁してはならない。浄化センターの処理能力は、約4千人分もの余裕がある。朝日町の小川から西の下水道整備はこれからだと聞いている。また黒部市の愛本新等の下水道処理施設が老朽化しているとも聞いている。これらを入善町で共同処理すること、互いに経費を削減できないかと提案してきただが協議は進んでいるのか。

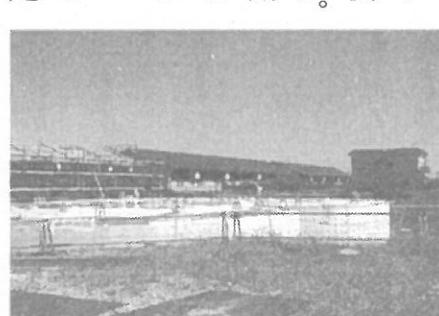
計画からも、年間2～3億円財源不足になるとしています。

一般質問で日本共産党の九里いく子議員は「使用料の引き上げで安易に町民に

負担を転嫁してはならない。一般会計からの繰り入れや貸付も提案してきたが、検討しているか」と質しました。

林副町長は「安易に使用料への転嫁や一般会計からの補てんではなく、サービスに対する応分の負担と、国基準に準じた公費負担の検討を重ねている。共同処理については、黒部市とはな検討が必要。使用料の見直しを含め、検討を重ねて

いる」と答えました。



増設された入善浄化センター

私は高齢者福祉の分野で13年間働いてきました。今の介護保険制度では、高齢者のみなさんが、安心して暮らせる制度になつていないと実感しています。また、介護現場での職員の負担も大変です。ですから私は、労働組合をつくり、若い職員

の待遇改善に取り組んできました。困つてる人を応援する町は、お年寄りが暮らしやすい町、若者も暮らしやすい町、子育てもしやすい町のはずです。だれもが安心して住み続けられる入善町にしたい、これが私の強い思いです。みなさんとともに、よりいまちづくり、地域づくりに取り組んでいきます。

生活相談は日本共産党入善町議員団へ

町議会議員 九里いく子
町議会議員 松田俊弘

入善町舟見1415
入善町春日 251

電話 78-1606
電話 74-0819

扇状地の特性を生かした地域振興・観光振興を



九里いく子議員

一般質問で九里いく子議員は「黒部川扇状地の歴史、産業、文化など扇状地の特性を生かして、地域振興、観光振興と結びつけることがジオパークの理念である。検討してはどうか」と質しました。

梅津企画財政課長は「黒

部市と共同で新川広域圏での水博物館事業を継承した。ジオパークの中心となりう



杉沢の沢スギ

海岸防災

越波する緩傾斜堤の沖に副離岸堤を

建設下水道
課
長

松田俊弘議員

策としても重要であり、整備には柔軟に対応するとしている。歯抜け箇所も優先して整備すること。町もこれらを考慮して整備に当たるべきだ」と質問。

整備し、歯抜け箇所は、条件が整えば実施を検討するという方針に変わった。町も該当箇所の整備を要望したい」と答えました。

一般質問で松田俊弘議員は「横山と春日にまたがる緩傾斜堤は高波で越波して、子どもの頭ほどの石が打ち上げられる。また、横山と八幡の間でも越波している。ここでの副離岸堤の設置を国に求めるべきだ。海岸防災について、国は津波対

は重要な地点であり、今後の整備計画等に組み入れられよう、国に強く働きかけていく。防災林について県は、農用地箇所を優先し



高波で越波する緩傾斜堤

国に強く働きかけていく

六月議会報告

ジオパーク

梅津企画財政課長は「トヨ



杉沢の沢スギ

下請け労働者と地域経済のため

円安で利益を上げた大企業は下請け単価を改善し賃上げを

竹島農水商工課長は「アベノミクス効果や企業の努力で業績が改善し、従業員の賃金アップにつながれば

と考えている。企業と連携しながら、できる限りの支援を考えている」と答えるにとどまりました。

正規職員を増やし待遇改善を

では臨時保育士の確保が困難で、保育現場に負担がかっている。保育所は子どもの命を預かるところだ。

臨時保育士を正規職員とす

るもの命を預かるところだ。

臨時保育士を正規職員とす

タ自動車は、円安で1兆円の利益を見込み、内閣研究会へ参加するとすれば、これらの取組みとジオパークとが重複せず発展することが前提であり、慎重に見極めていく必要がある」と答弁しました。

千億円の利益を見込み、内閣研究会へ参加するとすれば、これらの取組みとジオパークとが重複せず発展することが前提であり、慎重に見極めていく必要がある」と答弁しました。

町内の業者からは、原材料費や燃料費の高騰で、経営がますます厳しくなっています」と聞く。大企業の巨額の富を築いたのは、下請け企業も含め、働く人たちの汗と努力がつくり出したものだ。利益を下請け企業にも還元し、従業員の賃金も上げられるようにすべきではないか」と質しました。

町内の業者からは、原材料費や燃料費の高騰で、経営がますます厳しくなっています」と聞く。大企業の巨額の富を築いたのは、下請け企業も含め、働く人たちの汗と努力がつくり出したものだ。利益を下請け企業にも還